

☆☆ 短節間品種でタネを食べるカボチャ ☆☆

ゴールドエンライト



品種登録出願番号 35441

農研機構 北海道農業研究センター育成
海外持ち出し禁止

〔 特 徴 〕

- ・ 食用種子を生産するカボチャ。
- ・ 草姿は生育初期は短節間性を示す。生育中期以降から徐々に主枝が伸長して普通草姿となる。
- ・ 雌花は比較的低節位から着生し、株元付近で結実する。
- ・ 果実重は2.5～3.0kg程度で、従来品種より収穫作業が容易になった。株あたりの着果数は従来品種より多い。
- ・ 果実の形状は円筒型で、縞のない濃黄～橙色の果皮で小斑点を有する。

〔 栽培の要点 〕

- ・ 一般のセイヨウカボチャの慣行栽培に準ずる。
- ・ 密植（800本/10a）放任栽培で省力と多収の両立が可能。
- ・ 施肥量はセイヨウカボチャの標準栽培に準ずる。
- ・ 登録農薬が一般のセイヨウカボチャと比較して少ないため、農薬使用の際には登録の有無を確認する（2021年12月時点で、種子食用ペポカボチャに登録されている農薬はアグロスリン乳剤、イオウフロアブル、イデクリン水剤およびサンケイ園芸ボルドー となっている）



『ゴールデンライト』 と従来品種の比較



ゴールデンライト



従来品種

主枝の伸長	短節間性 主枝の伸びは従来 品種より遅い	短節間性
1個の果実の大きさ	3kg程度	5kg程度
1株の着果数	多い	少ない
着果位置	より低節位から着 果できる	
果実の形	円筒形に近い	球形に近い
果実の外観	縞のない黄金～橙 色 小斑点を有する	橙色の果皮に緑色 の縞が入る
種子収量	従来品種と同等か 多い	



朝日アグリア株式会社

品種登録出願番号 35441

農研機構 北海道農業研究センター育成
海外持ち出し禁止